

アルコン  の
お悩み相談所

教えて、ドクター！

眼に関する悩みや不安を抱えている皆さまの相談に、医療現場の最前線で活躍する現役のドクターがお答えします。

最近、視界がかすんでよく見えなくて。

(60代・女性)

60歳以降に顕著に増える 白内障の可能性が 있습니다。

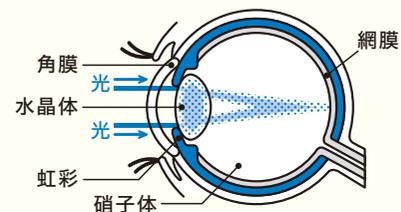
白内障は、カメラのレンズに相当する眼の中の水晶体が白く濁り、視力が低下する病気です。主な原因は加齢で、40歳くらいから症状が表れる方もおり、60歳以降になると顕著にみられます。また、80歳以上では、ほぼすべての方に表れます。白内障の治療には、濁った水晶体を取り除き、代わりに人工の眼内レンズを挿入する手術が必要です。眼の手術と聞くと怖いイメージを持たれる方もいらっしゃいますが、現代の白内障手術は、超音波やレーザー等の最先端の技術も活用でき、安全性の高い手術となっています。ほとんどの方が、点眼麻酔での手術が可能です。時間も15～20分程度で終了する 경우가多く、切開箇所も約

*3焦点レンズは遠・中・近の3つの距離に焦点が合い、老眼になる前の自然な見え方に近いことから「3焦点自然視覚レンズ」とも呼ばれています。*2焦点レンズ及び3焦点自然視覚レンズは2つ、もしくは3つの焦点距離にあるものを、同時にクリアに見られますが、焦点距離のものであっても、単焦点レンズほどクリアな視界は得られません。また、強い光を眩しく感じる場合があります。*焦点が当たっているところでも、場合によっては眼鏡が必要なことがあります。

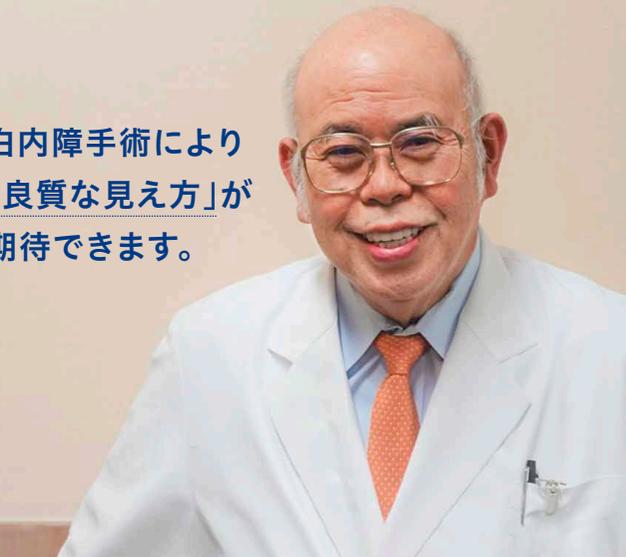
2.4mmと小さくなっています。ご希望の方は、日帰り手術でも安全に行うことが可能です。手術で挿入する眼内レンズも、単焦点(焦点が1つ)、2焦点(焦点が2つ)、3焦点(焦点が3つ)の中から、仕事や趣味など必要に応じた焦点距離での選択が可能です。特に、「Quality of Vision(見え方の質)」の向上につながると注目を集めているのが、遠(5m以上)・中(約60cm)・近(約40cm)の3つに焦点を合わせられる「3焦点自然視覚レンズ*」です。手元にも遠くにも中間の距離にもピントが合う自然に近い見え方が期待できるため、「日常生活を眼鏡なしで過ごせる時間が多くなった」と多くの方に喜ばれています。現代の白内障手術は、単に白内障を治療だけでなく、併せて患者さんが希望する見え方を実現できる手術へと進化しています。術後の良質な見え方の実現のためにも、個々の生活環境に応じたレンズの選択が重要です。ご希望の際には眼科医とよくご相談ください。

水晶体が濁った白内障の眼

光が通りにくくなり、見え方に影響が出ます。



白内障手術により「良質な見え方」が期待できます。



医療法人社団海仁 海谷眼科 院長

海谷 忠良 先生

白内障や緑内障等の先進的な眼科医療に取り組む眼科専門医。新潟大学医学部卒。秋田赤十字病院や聖隷浜松病院等を経て、1998年に海谷眼科を開院し院長に就任。

Alcon

白内障? と思ったら。

ウェブサイトで
詳しく知る

わかる! 白内障 検索



ウェブサイトに関する
お問い合わせはこちら

0120-33-8971

さんさん はく ない